

解答

一

- (8) 有能
- (1) あいしょう
- (2) 往復
- (9) と〔ぎ〕
- (3) 指導
- (10) ゆ〔う〕
- (4) 店頭
- (5) 座〔った〕
- (6) きぼ
- (7) かこう

二

- (1) ×
- (2) ○
- (3) ×
- (4) ×
- (5) ○

三

- (1) ア
- な
- イ
- に
- (2) ア
- い
- イ
- く

四

- (1) A
- ウ
- B
- い
- (2) A
- オ
- B
- ほ
- (3) A
- イ
- B
- に

五

- 問一 イ
- (1) 見えないものを描かなきゃ
- (2) 当たり前のくとを知った(ということ)
- 問二
- 問三 I
- カ
- II
- エ
- III
- ア
- IV
- オ
- 問四 E
- ウ
- 問五
- 問六 魚の、下から見た姿
- 問七 A
- ア
- B
- イ
- C
- エ
- 問八
- 問九
- 問十
- 問十一
- 問十二
- 問十三
- 問十四
- 問十五

六

- 問一 ア
- ウ
- 問二
- 問三 I
- エ
- II
- ア
- III
- オ
- IV
- ウ
- V
- イ
- 問四
- みんなですく工夫したり(する)
- (1) 大きな脳と小さな体
- (2) 暮らしの達人
- 問五
- 「体の違いくある」こと
- 問六
- エ
- 問七
- ア
- 手話を奪われた(こと)
- 問八
- ア
- 問九
- おとなとは別の活動領域をもって生きている人たち
- 問十
- ウ
- 問十一
- ア
- ×
- イ
- 
- ウ
- ×
- エ
- ×
- オ
- 
- 問十二

## 問六

続く部分でパンさんは、魚の入った透明なポウルをもってきて、「ポウルを持ち上げ、雅之君の頭上に掲げた」とあり、「川底に目があればこんなふうに見える。角度を変えるのもひとつの工夫なんだよ」と、ちがった視点から物を見るおもしろさを教えてくれます。

## 問十一

本文の最後で、筆者は「ひとりひとりが少しずつ違いながら、自分の背丈に合った暮らしをつむいでいく、それぞれがみな暮らしの達人たち」「体と文化の違いをもった子どもたちの姿に、お互い出会うことで、人間の可能性の幅広さについて学んでいきませんか。」と述べています。